

浅間台

松戸市立第二中学校

令和5年度 4月号

『成功にとられるな、成長にとられる』～本田圭佑選手のメッセージから～

校長 佐野 公雄

4月6日に着任式・始業式が行われ、新しく15名の教職員を迎えて、令和5年度がスタートしました。本日、4月11日は、入学式で150名の新生を迎え、明日から、いよいよ全校生徒がそろっての学校生活が始まります。新型コロナウイルス感染症の感染予防対策のために、これまで自粛を余儀なくされていた活動が、少しずつ緩和されていくと思います。ぜひ、積極的にチャレンジして、自らを成長させていって欲しいと思います。私は今回の始業式で、元サッカー日本代表・本田圭佑選手のことばを生徒に伝えました。それは、『成功にとられるな、成長にとられる』ということばです。これは彼が、「アスリートのセカンドキャリアについて語る」というテーマで、企業が行った特別インタビューの際に発したことばです。YOUTUBEにも掲載されているので、見た方も多いかもかもしれませんが、内容を一部抜粋して紹介します。

「僕が言いたいのは、努力しても成功できるとは限りません。実際に頑張っても成功できなかった人もたくさんいます。僕もそうです。でも、その時に違うもののせいにははいけないということ。実際に努力はしたはずなのに結果が出ていないというケースは山ほどあります。出ないことの方が多いです。でも、努力に裏切られたことはありません。それは何を言ってるかということ、「成功にとられるな！成長にとられる！」ということです。人は努力した時に絶対100%成長しています。僕の人生では100%の割合で努力したときには成長しています。これが僕の言う真実で、一番最も全人類にてはまる大事なものです。でも、みんな成功ばかり見がちになります。違うんです。成長で喜ばないとダメなんです。成長の先に成功があるのです。」彼は、「挑戦し、努力することこそが大切である」と教えてくれています。たとえ目標に届かなかったとしても、そこに向かって努力してきたことで、人は必ず成長している。努力は決して無駄ではない。それは将来への成功につながっているんだということに気づかされます。

また、本田選手は、若者たちが挑戦することをあきらめて欲しくないという思いから、『NowDo』というオンラインスクールを開設しています。これは、様々なジャンルのプロフェッショナルが講師となり、若者が自分で考え、行動するための“材料”を教える場として、貧困による教育格差で、学ぶ環境すら与えられない弱者たちに、少しでも力を与えたいとしてスタートしたものです。彼は、開設にあたって次のような思いを語っています。「僕が求めているのは結局、成功ではなく“成長”なのだと思う。昨日より今日、今日より明日。サッカーでいうなら、昨日より走れること、今日よりうまくボールを蹴れること。努力した結果得られる日々の成長こそが、自分にとっての本質であり、真実だ。成長し続けることができれば、どんな時代になっても、生き続けることができるのだ。今、この難しい時代に、改めて「自分を高める」ことの大切さを感じている。そこで、自分に投資し、学び、行動すること。そのことの大切さを知ってもらいたくて、中高生が月額1ドルで参加できるオンラインの学校『NowDo』をスタートさせた。」日本代表のときから「挑戦をあきらめるな！」と言ってきた、彼らしい活動だと思います。



〈出典〉YOUTUBE「(株)ネクコネ 特別インタビュー」

元サッカー日本代表のアルベルト・ザッケローニ監督も、「成功は必ずしも約束されていないが、成長は必ず約束されている」ということばを残しています。今年度、挑戦する中学生の姿を期待しています。